

---

---

公益社団法人 自動車技術会  
学術講演会原稿執筆要領

---

---

第 29 版

|  | ページ |
|--|-----|
| I 予稿原稿・Summarized Paper 原稿執筆要領,<br>及び PDF 作成方法 ..... | 1   |
| II 講演資料(パワーポイント等)作成要領<br>.....                       | 5   |
| III キーワード<br>.....                                   | 6   |

事務局:

# I 予稿原稿・Summarized Paper 原稿執筆要領、及び PDF 作成方法

## 1. 予稿原稿 執筆要領

- (1) 使用言語  
日本語または英語とし、講演(口頭)の使用言語と同一として下さい。
- (2) ファイル形式  
PDF
- (3) カラー  
図・写真については、カラーが可能です
- (4) 構成 (原稿作成の際は大会ウェブサイト上にある「予稿原稿作成テンプレート」を必ずご使用下さい。)  
  - ① ページ設定  
A4サイズ/上マージン25mm、下マージン25mm、左右マージン18mm
  - ② 段組、行数など  
左右2段組み、1段当たり47行、1行当たり27字(日本語のみ)  
⇒ 1段の高さ 247mm、幅83mm、左右の段の間隔8mm
  - ③ ページ数  
日本語原稿            3ページ以上 6ページ以内  
英語原稿              4ページ以上 8ページ以内 (IJAIEに投稿申込する場合は、2ページ)
- (5) 原稿 (大会ウェブサイト上にある「予稿原稿作成見本」を必ずご参照下さい。)  
  - ① 講演番号、文献番号  
講演番号、文献番号は事務局側で記載しますので、著者側で記載しないでください。
  - ② 主題  
⇒ 和文原稿:主題 14ポイント、明朝体  
⇒ 英文原稿:主題 16ポイント、Times New Roman, Upper and Lower Case(最初の文字は大文字、他は小文字)で記載して下さい。  
続報がある場合は、主題の末尾に(第〇報)と記載して下さい。
  - ③ 副題  
副題はなるべく使用しないで下さい。補足説明のために付けるもので、やむを得ず付与する場合は、副題の前後には「-」(ダッシュ)を記載して下さい。  
⇒ 和文原稿:副題 9ポイント、明朝体  
⇒ 英文原稿:副題 11ポイント、Times New Roman, Upper and Lower Caseで記載して下さい
  - ④ 著者名  
a. 主著者を筆頭とし、姓・名を略さないで下さい。  
b. 著者が複数の場合は、当該研究に寄与した人を必要最小限で記載して下さい。  
c. 地位・身分・称号は省略して下さい。  
d. 著者名の最後に片括弧書きで脚注の勤務先を示す番号(同一勤務先の場合は同一の番号)を記載して下さい。  
例)自動車 太郎<sup>1)</sup> Ronbun Template<sup>2)</sup>  
⇒ 和文原稿: 9ポイント、明朝体  
⇒ 英文原稿: 11ポイント、Times New Roman (ボールド体)  
e. 講演者名には下線を引いてください  
例)自動車 次郎<sup>1)</sup>
  - ⑤ (和文原稿のみ) 主題英文  
②に沿った英文を記載してください。  
⇒ 11ポイント、Times New Roman
  - ⑥ (和文原稿のみ) 著者名英語  
④に沿った英文を記載してください。  
⇒ 9ポイント、Times New Roman
  - ⑦ 英文要旨  
内容の要点を説明する100語以内の英文にして下さい。  
⇒ 英文9ポイント、Times New Roman
  - ⑧ キーワード(英文)  
a. 全体的内容が推測できるよう「自動車技術会基準キーワード」の第1、第2及び第3カテゴリーよりキーワードを選定して下さい。第1カテゴリーからのキーワードの選定は必須とし、第2及び第3カテゴリーからも極力該当するキーワードを付与して下さい。

- b. 自由キーワードは、著者が表題及び本文から自由に設定して下さい。
- c. 各キーワード間には「、」を入れて下さい。  
⇒ 英文 9ポイント、Times New Roman (基準キーワード部分はボールド体)、Upper and Lower Caseで記載して下さい。
- ⑨ 分類  
「自動車技術会基準キーワード」の分類の中から一つだけ選び、キーワードの最後に付けて下さい。  
⇒ 9ポイント、Times New Roman (( )付き)
- ⑩ 本文  
研究の目的、内容、結論を論理的な構成の下に明確な表現で書いてください。会社名・商品名・社内用語の明記、商業的な内容の記述はご遠慮下さい。  
⇒ 和文原稿：9ポイント、明朝体  
⇒ 英文原稿：9ポイント、Times New Roman
- ⑪ 図(写真を含む)及び表  
a. 図表の表題及び図表中の用語は英文にして下さい。  
b. 図の場合は、図の下に、表の場合は、表の上に図表タイトル(キャプション)を記載して下さい。  
⇒ 図表タイトル: 英文 9ポイント、Times New Roman  
⇒ 図表中文字: 英文 7ポイント以上
- ⑫ 著者情報  
(和文原稿)  
a. 1ページ目の左段下部分(脚注)に、著者の勤務先名、勤務先所在地(郵便番号、番地等を省略しない)を記載して下さい。  
b. 同一勤務先の著者が複数いる場合はまとめて記載して下さい。  
⇒ 和文 9ポイント、明朝体  
例) 1)・2) (株)自動車技術会(102-0076 東京都千代田区五番町10-2) E-mailアドレスの記載は任意  
  
(英文原稿)  
a. 1ページ目の著者名下部分に、著者の勤務先名、勤務先所在地(郵便番号、番地等を省略しない)をイタリック体(斜体)で記載してください。  
b. 同一勤務先の著者が複数いる場合はまとめて記載して下さい。  
⇒ 英文 9ポイント、Times New Roman  
例) 1)・2) *The University of JSAE, Graduate School of Engineering  
10-2 Gobancho, Chiyoda, Tokyo, 102-0076, Japan (E-mail: 任意)*
- ⑬ 原稿の発行日(公開日)  
原稿1ページ目のフッターに、事務局側で発表講演名と発行日(公開日)を記載しますので、著者側では記載しないでください。
- ⑭ 参考文献  
本文の最後にまとめ、文献を引用する場合には、該当個所の右肩に「<sup>(1)</sup>」のように、一連の番号を付けて示して下さい。  
⇒ 和文 9ポイント、明朝体  
⇒ 英文 9ポイント、Times New Roman
- a. 論文集・雑誌等を参考にする場合  
原著者名: 表題, 雑誌名, 巻, 号, 初めのページ-終りのページ(発行年), 文献番号  
例) 自動車太郎: 熱工学の先端領域術, 自動車技術, vol.60, No.10, p.100-108 (1999)  
五番町次郎: ドライバ評価手法, 自動車技術会学術講演会予稿集(2014), 20145678  
John Smith: Vehicle Dynamics System, SAE Technical Paper (2014),  
2014-01-0000, doi:10.4271/2014-01-0000
- b. 単行書1冊を参考にする場合  
原著者名: 図書名, 出版地, 出版者, 出版年, 総ページ  
例) 吹抜敬彦: 画像のデジタル信号処理, 東京, 日刊工業新聞社, 1981, 292p.
- c. 単行書の一部を参考にする場合  
原著者名: 参考にする章・節等の表題, 図書名, 出版地, 出版者, 出版年, 参考にする個所の初めのページ-終りのページ  
例) 都築正和ほか: 高分子医用材料に対し臨床的に要求される物性機能性, 医用高分子材料, 東京, 学会出版センター, 1981, p.24-29

- ⑮ その他の注意事項
- a. 表題・本文への会社名・商品名の明記、商業的な内容の記述はご遠慮下さい。
  - b. 人を対象とする研究は、自動車技術会「人を対象とする研究倫理ガイドライン」を遵守して実施され、倫理審査委員会等による審査承認を得たものであること。また、予稿原稿中には実験等について審査承認を得ていることが記述されていること。  
(「人を対象とする研究倫理ガイドライン」<https://www.jsae.or.jp/public/incorporation/guideline/>)
  - c. 本文の章、節、項の見出しには、番号を付けて下さい。番号はアラビア数字と句点「.」の組合せによって表し、原則として3段階(章.節.項)までとして下さい。
  - d. 文章の区切りには読点「,」(カンマ)、句点「.」(ピリオド)を用いて下さい。
  - e. 年号は西暦で記載して下さい。
  - f. 外国語の固有名詞は片仮名書きとし、( )を付して原語を添えることが望ましい表記です。ただし、一般に周知のものは片仮名書きのみとします。
  - g. 外国語を片仮名書きするときに「 」や( )は用いないで下さい。複合語は一つの単語として書き、空白や「・」(中黒)を用いないで下さい。  
例) クランクシャフト(crankshaft)
  - h. 略語を使用する場合は、普通名詞、固有名詞にかかわらず、原語で記載して下さい。また、一般に周知でない略語を使用する場合は、最初に使用した個所で原語を( )で付記して下さい。この場合の字体は正体として下さい。
  - i. 用語は、文部科学省制定の学術用語及びJIS、JASO規定の用語規格によります。学術用語以外の用語についても旧文部省制定のあるものはそれにより、制定されていないものは、適正と思われる慣用語で記載し、原語を( )で付記して下さい。
  - j. 数量、序数を表す数字はアラビア数字を使用し、漢字と結合して名称や概数を表す場合は漢数字を使用して下さい。
  - k. 小数点は、中央から下に表示し、桁数の多い数は、3桁ごとに「,」(コンマ)で区切って下さい。
  - l. 国際単位系(SI)を使用して下さい。重要な数値には従来単位を併記しても問題ありません。
  - m. 量記号はJIS Z 8202(量記号及び単位記号)、数学記号はJIS Z 8201(数学記号)、化学記号は万国化学記号、製図記号はJIS B 0001(機械製図)によります。
  - n. 数式は(段組の)左右2段にまたがらないようにして下さい。数式に通し番号を付けるときは、右端に( )を付けてその中に書いて下さい。文中で引用する場合には式(1)、式(2)のように書いて下さい。数式及び物理量を表す文字はイタリック(斜体)を使用し、単位を表す文字はローマン(立体)を使用して下さい。

## 2. Summarized Paper 原稿執筆要領

- (1) 使用言語  
英語
- (2) ファイル形式  
PDF
- (3) カラー  
図・写真については、カラーが可能です
- (4) 構成(原稿作成の際は大会ウェブサイト上にある「Summarized Paper原稿作成テンプレート」を必ずご使用下さい。)  
  - ① ページ設定  
A4サイズ／上マージン25mm、下マージン25mm、左右マージン18mm
  - ② 段組、行数など  
1段組、1段当たり47～50行
  - ③ ページ数  
1ページ
- (5) 原稿(大会ウェブサイト上にある「Summarized Paper原稿作成見本」を必ずご参照下さい。)  
  - ① 講演番号、文献番号  
講演番号、文献番号は事務局側で記載しますので、著者側で記載しないでください。
  - ② 主題(英文):1. (4)-③参照  
⇒ 英文 16 ポイント、Times New Roman

- ③ 副題(英文):1. (4)-④参照  
⇒ 英文 11ポイント、Times New Roman
- ④ 著者名(英文):1. (4)-⑤参照  
⇒ 英文 11ポイント、Times New Roman(ボールド体)
- ⑤ 著者の勤務先等(E-mailアドレスは任意記載):1. (4)-⑥参照  
⇒ 英文 9ポイント、Times New Roman(イタリック体)
- ⑥ 原稿の発行日(公開日)  
原稿1ページ目のフッターに、事務局側で発表講演名と発行日(公開日)を記載しますので、著者側では記載しないでください。
- ⑦ キーワード(英文):1. (4)-⑧参照  
⇒ 英文 9ポイント、Times New Roman(基準キーワード部分はボールド体)
- ⑧ 分類:1. (4)-⑨参照  
⇒ 9ポイント、Times New Roman ([ ]付き)
- ⑨ 本文(英文):1. (4)-⑩参照  
⇒ 英文 9ポイント、Times New Roman
- ⑩ 図(写真を含む)及び表:Summaryを示す図表(写真を含む)を必ず一つ以上入れて下さい。  
⇒ 図表タイトル:英文 9ポイント、Times New Roman  
⇒ 図表中文字:英文 7ポイント以上

### 3. PDF 作成方法

- (1) 適切なPDF変換をするためにAdobe社のAcrobat 8.0以上の使用を推奨します。
- (2) フォントの埋め込みを行って下さい。作成時にPDF設定をプレス品質に指定するとフォントが自動的に埋め込まれます
- (3) 「色」は「カラー」に設定して下さい。
- (4) 図・写真の「解像度」はカラー・グレースケールで300dpi以上、白黒で600dpi以上にして下さい。
- (5) PDFファイルの「サイズ」は、「予稿原稿」は8MB、「Summarized Paper原稿」は1MB以下にして下さい。
- (6) 「予稿原稿」と「Summarized Paper 原稿」は別ファイルにして下さい。
- (7) PDF ファイルにはセキュリティ設定をかけないで下さい。

### 4. PDF ファイルのアップロード方法

- (1) 受付番号とパスワードを入力して講演受付システムにログインし、アップロードして下さい。
- (2) 必ず拡張子(\*\*\*.pdf)が付いたファイルをアップロードして下さい。
- (3) 予稿原稿とSummarized Paper 原稿は、同時にアップロードして下さい。原稿提出締切日までは、何回でも原稿の閲覧及び再アップロード(更新)が可能です。原稿提出締切日以降の原稿の差し替えはできません。

## Ⅱ 講演資料(パワーポイント等)作成方法

---

### 1. 講演資料(パワーポイント等)

(1) 使用言語

講演時に用いる映写資料(パワーポイント等)は、講演の使用言語が英語・日本語に関わらず、次を使用して下さい。

春季大会:「英語」

秋季大会:「英語」又は「日本語」

(2) ファイル形式

パワーポイント等

(3) 内容

① 予稿原稿の内容に沿ったものにして下さい。

② 商業的な内容を避け、商品名及び所属機関名、これらのロゴを含まないようにして下さい。(ただし、所属機関名、および所属機関のロゴ等は1ページ目のみに記載できることとします。)

(4) 作成の際の留意事項

① 1枚にひとつの事柄のみをまとめ、1分/枚程度を目安として下さい。

② 式や文字による説明は1枚に7～10行程度として下さい。記号や文字の太さは24pt以上にすると見やすくなります。

③ 図表の表題及び図表中の用語は英語にして下さい。

### Ⅲ キーワード

---

#### キーワードの種類

キーワードは基準キーワード(自動車技術会基準キーワード)と自由キーワードの2種類です。

(1) 基準キーワード

全体の内容が推測できるよう「自動車技術会基準キーワード」の第1、第2及び第3カテゴリより選定して下さい。  
第1キーワードの選定は必須とし、第2及び第3カテゴリからも極力該当するキーワードを付与して下さい。

(2) 自由キーワード

自由キーワードは、著者が表題及び本文から自由に設定して下さい。

① 具体的な意味のある語句で、できるだけ狭義な語句を選定して下さい

× Critical、Speed → ○Critical Speed

× Life → ○Tool Life、○Fatigue Life

② 名詞形を使用して下さい。

× Studied Experimentally → ○Experimental Study

③ 省略形は、(海外も含め)その専門分野で広く通用しているものに限りません。

(著者が作った新語は原則として使用しないで下さい。)

× ATC → ○Automatic Tool Change

→ ○Automatic Train Control

④ 複合語・複合句は慣用されているものに限りません。

× Fatigue Strength at Elevated Temperature

→ ○Fatigue Strength、Elevated Temperature

⑤ 合金名、化合物名、元素名、核種名などの記号は、フルスペリング(記号)で示して下さい。

× CrMo → ○Chromium Molybdenum (CrMo)

× Al<sub>2</sub>O<sub>3</sub> → ○Aluminum Oxide (Al<sub>2</sub>O<sub>3</sub>)

× Cu → ○Copper (Cu)

⑥ 一群の同義語・類似語がある場合には、簡潔なもの、頻度の高いものを選択して下さい。

⑦ 取捨に迷う場合には、加えて下さい。

自動車技術会基準キーワード  
Automotive Technology: Standardized Keywords

2010年5月発行  
Issued: May 2010  
2013年10月改訂  
Revise: October 2013

(\*) ... 英語語は末尾にフルスペルを表記  
(\*): Items marked with an asterisk are spelled out in the definition.

| 分類<br>Category<br>Code | 目的・分野<br>Purpose/field             | 目的の対象<br>(もの、ハードおよびソフト)   | Objects/hardware/software  | 手法・内容および技術要素   | Means/details/component<br>technologies  |
|------------------------|------------------------------------|---|--|--|--|
|                        | 第1カテゴリー<br>Category 1              | 第2カテゴリー   | Category 2   | 第3カテゴリー  | Category 3   |
| (A1)                   | ①熱機関<br>heat engine                | 圧縮着火機関<br>火花点火機関<br>予混合圧縮着火<br>新型機関<br>ロータリ機関<br>スターリング機関<br>ガスタービン/蒸気タービン<br>エンジン部品・要素<br>ターボチャージャ/VGターボ<br>スーパーチャージャ<br>可変動弁機構<br>エンジン補機類<br>ターボコンパウンド<br>後処理システム<br>三元触媒<br>deNOx触媒/SCR脱硝/NOx<br>還元触媒(*)<br>微粒子フィルタ<br>燃料/代替燃料<br>ガソリン/軽油/灯油/重油<br>エタノール/BDF(*)<br>LPガス/天然ガス/水素<br>DME/FT合成油(*)<br>潤滑油/エンジンオイル | compression ignition engine<br>spark ignition engine<br>homogeneous charge compression<br>ignition<br>new combustion model/new<br>combustion model engine<br>rotary engine/rotary combustion<br>engine<br>Stirling engine<br>gas turbine/steam turbine<br>engine component or element<br>turbocharger/variable geometry<br>turbo<br>supercharger<br>variable valve train<br>engine accessory<br>turbo compound<br>post treatment system<br>three-way catalyst<br>de-NOx catalyst/selective catalytic<br>reduction NOx removal/NOx<br>reduction catalyst<br>particulate filter<br>fuel/alternative fuel<br>gasoline/light oil (gas oil/diesel<br>oil) /heavy oil<br>ethanol/bio-diesel fuel<br>liquefied petroleum gas/natural<br>gas/hydrogen<br>dimethyl ether/Fischer-Tropsch<br>synthetic oil<br>lubricating oil/engine oil | 計測/診断/評価<br>数値計算<br>設計/制御<br>理論/モデリング<br>性能/燃費/効率<br>燃焼解析<br>排出ガス/有害排出物<br>燃料噴射/燃料噴霧<br>吸排気<br>過給<br>混合気形成/ガス流動<br>燃料改善/燃料改質<br>添加剤<br>潤滑/トライボロジー<br>振動/騒音<br>冷却 | measurement/diagnosis/evaluation<br>numerical calculation<br>design/control<br>theory/modeling<br>performance/fuel<br>economy/efficiency<br>combustion analysis<br>emissions gas/harmful emissions<br>fuel injection/fuel spray<br>intake and exhaust<br>supercharging<br>mixture formation/gas flow<br>fuel improvement/fuel reforming<br>additive<br>lubrication/tribology<br>vibration/noise<br>cooling |
| (A2)                   | ②動力伝達系<br>power transmission       | 発進システム<br>変速機<br>デファレンシャル/終減速機<br>MT<br>AT<br>CVT(*)<br>AMT/DCT(*)<br>新型トランスミッション<br>動力分配システム<br>AWDシステム(*)<br>ハイブリッドシステム<br>駆動軸/ジョイント<br>クラッチシステム<br>歯車/ギアシステム<br>ドライブトレイン<br>ベルトドライブ/トラクションド<br>ライブ/チェーンドライブ<br>制御システム<br>油圧システム<br>同期機構<br>軸受<br>潤滑油/トランスミッションオイル  | start control system<br>transmission<br>differential/final reduction gear<br>unit<br>manual transmission<br>automatic transmission<br>continuously variable transmission<br>automated manual<br>transmission/dual clutch<br>transmission,<br>new type transmission<br>transfer<br>all-wheel drive system<br>hybrid system<br>drive axle/joint<br>clutch system<br>gear/gear system<br>drivetrain<br>belt drive/traction drive/chain<br>drive<br>control system<br>hydraulic equipment<br>synchromesh<br>bearing<br>lubricating oil/transmission oil  | 加工<br>材料<br>強度<br>疲労<br>機構   | machining<br>material<br>strength<br>fatigue<br>mechanism  |
|                        | ③EV・HVシステム(*)<br>EV and HV systems | モータ<br>モータ駆動システム<br>インバータ/コンバータ<br>パワーコントロールユニット<br>電池技術<br>リチウムイオン電池/ニッケ<br>ル水素電池/鉛電池<br>SOC(*)<br>充電/放電<br>車載充電システム   | motor<br>motor drive system<br>inverter/converter<br>power control unit<br>battery technology<br>lithium ion battery/nickel-metal<br>hydride battery (nickel hydrogen<br>battery)/lead-acid battery<br>state of charge (SOC)<br>charge/discharge<br>onboard charging system  | モータ特性<br>電気動力変換<br>エネルギー回生<br>システム技術<br>充電インフラ<br>動力分割<br>絶縁<br>標準化<br>法規  | motor characteristics<br>electric power conversion<br>energy regeneration<br>system technology<br>filling infrastructure<br>power split<br>insulation<br>standardization<br>regulation   |



|      |   |  |   |  |   |
|------|---|--|---|--|---|
| (A3) |   | 蓄電システム<br>電動補機/空調<br>補機システム<br>プラグインハイブリッド<br>燃料電池<br>スタックセル<br><br>水素タンク<br>水素製造/改質<br><br>エネルギー充填/水素充填/インフラ<br>エネルギー制御システム<br>ブレーキ制御/回生協調ブレーキ  | power storage system<br>electrical accessories/air conditioning accessories<br>plug-in hybrid<br>fuel cell<br>stack cell<br><br>hydrogen tank<br>hydrogen production/hydrogen reforming<br>energy replenishment/hydrogen filling/infrastructure<br>energy control system<br>brake control/regenerative-friction brake coordination  | 電気安全(感電防止)<br><br>EMC (*)<br><br>普及政策<br>エネルギーバランス<br>エネルギーマネジメント<br>冷却/熱・温度マネジメント   | electrical safety (electric shock prevention)<br>electromagnetic compatibility<br><br>policy of popularization<br>energy balance<br>energy management<br>cooling/heat and temperature management  |
| (B1) | ④車両運動<br>vehicle dynamics                         | 電子スタビリティ制御<br>サスペンションシステム<br>電子制御サスペンション<br><br>ブレーキシステム<br>ブレーキバイワイヤ/ABS (*)<br><br>ステアリングシステム<br>ステアバイワイヤ/パワーステアリング<br>タイヤ/ホイール<br>シャシ/コンポーネント<br>車間距離自動維持運転システム<br>車線維持支援システム<br>横滑り防止装置<br>二輪車/大型車両/特殊車両/航空機                                   | electronic stability control<br>suspension system<br>electronically controlled suspension<br>brake system<br>brake-by-wire/antilock brake system (ABS)<br>steering system<br>steer-by-wire/power steering<br>tire/wheel<br>chassis/component<br>adaptive cruise control system<br>lane-keeping assistance system<br>electronic stability control<br>motorcycle/heavy duty vehicle/special vehicle/aircraft  | 運動制御<br>車両動力学<br>評価技術<br><br>ドライバモデル<br><br>操縦安定性<br>力学モデル<br><br>道路環境認識<br>運転意図認識   | motion control<br>vehicle dynamics<br>evaluation technology<br><br>driver model<br><br>driving stability<br>dynamic model<br><br>road environment recognition<br>driver intention recognition   |
| (B2) | ⑤車両開発<br>vehicle development                      | プラットフォーム<br>CAD/CAM/CAE (*)<br><br>パーソナルモビリティ<br>ホワイトボデー<br><br>バンパ/ボデー外板<br>インストパネル<br>シート/照明<br>デザイン<br>HILS   | platform<br>computer-aided design (CAD)/computer aided manufacturing/computer aided engineering<br><br>personal mobility<br>body shell/white body/body in white<br>bumper/body model<br>instrument panel<br>seat/lighting<br>design<br>hardware in the loop simulation  | 性能計画<br>エクステリア/インテリア<br><br>カラー<br>車体構造/車体設計<br><br>構造部材解析<br>車両計画<br>軽量化<br>設計最適化/ロバスト設計<br>設計シミュレーション/設計ツール/設計モデリング<br>短期試作/仮想進行<br>車両用途<br>モータースポーツ<br>信頼性<br>負荷シミュレーション                    | performance plan<br>exterior/interior<br><br>color<br>body structure/body design<br><br>structural member analysis<br>vehicle plan<br>weight reduction<br>design optimization/robust design<br>design simulation/design tool/design modeling<br>rapid prototyping/virtual planning<br>vehicle application<br>motor sports<br>reliability<br>load simulation   |
| (B3) | ⑥振動・騒音・乗り心地<br>vibration, noise, and ride comfort | パワートレイン/車体/エンジン<br>懸架系<br>吸排気システム/駆動系<br><br>サスペンションシステム<br><br>ブレーキ/タイヤ<br>車体構造/車体材料<br>防音材<br>補機・デバイス騒音<br>アイドル振動騒音/加速時騒音<br>こもり音/振動<br><br>静粛性<br><br>ドラミング(低周波ロードノイズ)<br><br>ロードノイズ/パターンノイズ<br>パワートレイン揺動(始動/発進/変速)<br>うなり音(パワートレイン/駆動系)<br>ギア音 | power train/body (vehicle body)/engine mounting system<br>intake and exhaust system/drive line (drivetrain)<br><br>suspension system (suspension)<br><br>brake/tire<br>body structure/body material<br>acoustic material<br>accessory and device noise<br>idling vibration/idling noise/acceleration noise<br>booming noise/vibration<br><br>quietness<br><br>drumming noise (low frequency road noise)<br><br>road noise/pattern noise<br>powertrain oscillation (powertrain start/vehicle start/shift)<br>whine/growl/beat noise [powertrain/drive line (drivetrain)]<br>gear noise | CAE解析/予測/最適化 (*)<br><br>有限要素法/境界要素法<br><br>評価技術/計測技術/音源探索技術<br><br>マルチボディダイナミクス<br>統計的エネルギー解析法<br>フルビークル解析<br>実験解析技術<br>最適化技術<br><br>音質評価/乗り心地評価<br><br>デバイス技術/制御技術<br><br>モード解析/伝達経路解析/流体騒音解析 | CAE<br>simulation/forecast/optimization<br>finite element method (FEM)/boundary element method (BEM)<br>evaluation<br>technology/measurement technology/sound source search technology<br>multi-body dynamics<br>statistical energy analysis<br>full-vehicle simulation<br>test and analysis technology<br>optimization technique<br><br>sound quality evaluation/ride comfort evaluation<br>device technology/control technology<br>modal analysis/transfer path analysis/fluid induced noise analysis |

|      |                            |  |   |   |   |
|------|----------------------------|--|---|---|---|
|      |                            | <p>乗り心地<br/>ハーシュネス<br/>シミー<br/>走行車体振動<br/>風切り音<br/>ブレーキ鳴き/ジャダー<br/>車外騒音/騒音規制</p>   | <p>ride comfort<br/>harshness<br/>shimmy<br/>body vibration while driving<br/>wind noise<br/>brake noise/judder<br/>exterior noise/noise regulation</p>   |   |   |
| (C1) | ⑦安全<br>safety              | <p>衝突安全/火災安全/予防安全/統合安全<br/><br/>安全教育<br/><br/>素材可燃性テスト<br/>抑制システム<br/>救命救急/乗員保護/歩行者・2輪乗員保護/交通弱者保護<br/><br/>事故回避/衝突予知<br/>衝突試験<br/>後方衝突/側方衝突/前方衝突<br/>防火<br/>ブリクラッシュ<br/><br/>コンパチビリティ<br/>ドライビングシミュレータ<br/>エアバッグ/シートベルト<br/><br/>人体モデル/ダミー<br/>ドライブレコーダ/EDR<br/>車体構造<br/>シート/ヘッドレストレイント<br/><br/>高齢者保護/子ども保護<br/>CRS (*)<br/>妊婦乗員保護<br/><br/>歩行者検知/保護<br/>自動ブレーキ<br/>被害軽減ブレーキ/警報<br/><br/>知能化自動車<br/>ACC (*)<br/>道路環境<br/>交差点カメラ<br/>傷害データベース<br/>臨界安全システム<br/>シートベルトリマインダ<br/>事故通報システム (ACN)<br/><br/>ドクターヘリ/ドクターカー<br/>免許制度<br/>傷害基準<br/>インパクト<br/>ヘルメット</p> | <p>passive safety (collision safety/crash safety)/fire safety/active safety/combined active and passive safety/integration control/integrated control<br/>safety education<br/>material flammability test<br/>suppression system<br/>first aid/occupant protection/pedestrian and bicycle and motorcycle rider protection/protection for vulnerable road users<br/>accident avoidance/collision prediction<br/>crash test<br/>rear end collision/side impact/frontal collision<br/>fire protection<br/>pre-crash<br/>compatibility<br/>driving simulator<br/>air bag/seat belt<br/>anthropomorphic dummy/crash test dummy<br/>drive recorder/event data recorder<br/>body structure<br/>seat/head restraint<br/>protection of older people/child protection<br/>child restraint system<br/>expectant mother protection<br/>pedestrian detection/protection<br/>automatic brake<br/>damage mitigation brake/warning<br/>intelligent vehicle<br/>adaptive cruise control<br/>road environment<br/>intersection camera<br/>injury database<br/>critical safety system<br/>seat belt reminder<br/>automatic crash notification/automatic collision notification<br/>doctor helicopter/doctor car<br/>licensing system<br/>injury criteria<br/>impactor<br/>helmet</p> | <p>道路環境認識<br/><br/>画像処理/情報処理<br/>知能化/コンピュータ応用<br/>乗員検知/乗員の安全<br/>被害軽減<br/><br/>衝撃吸収・緩和<br/>事故解析/事故統計解析<br/>事故調査・分析<br/>ヒヤリハット解析<br/>救命率/初療開始<br/>傷害予測<br/>傷害メカニズム<br/>事故再現/事故復元<br/>安全人体モデル<br/>車両転覆<br/>センサ技術<br/>高齢者耐性/高齢者運転特性<br/>受傷部位/加害部位<br/>重傷度 (AIS)<br/>車両運動制御/エアバッグ制御<br/>車線維持制御<br/>ナビゲーション<br/>車車間・路車間通信<br/>運転支援/ドライバ支援<br/>ISS (*)<br/>マクロデータ/マイクロデータ<br/>リスクカーブ<br/>加害性<br/>デルタV<br/>回避行動<br/>試験/評価<br/>第三者評価<br/>法規<br/>CAE (*)</p> | <p>road environment recognition<br/><br/>image processing/information processing<br/>intelligent/computer application<br/>occupant detection/occupant damage mitigation<br/><br/>energy-absorbance and impact attenuation<br/>accident analysis/statistical accident analysis<br/>accident investigation and analysis<br/>near-miss analysis<br/>survival rate/start of initial treatment<br/>injury prediction<br/>injury mechanism<br/>accident reconstruction/accident re-creation<br/>anthropomorphic dummy<br/>rollover<br/>sensor technology<br/>injury tolerance of older people/characteristics of older drivers<br/>injured area/impacting area<br/>abbreviated injury scale<br/>vehicle dynamics control/airbag control<br/>lane-keeping control<br/>navigation system<br/>vehicle-to-vehicle and infrastructure-to-vehicle communication<br/>driving support/driver support<br/>injury severity score<br/>macro data/micro data<br/>risk curve<br/>risk<br/>delta-v/change in velocity<br/>evasive action<br/>test/evaluation<br/>third-party evaluation<br/>regulation<br/>computer aided engineering</p> |
|      | ⑧人間工学<br>human engineering | <p>高齢者<br/>人体傷害<br/>バイオメカニクス<br/><br/>生体計測/運転心理<br/>ドライバ状態<br/>認知反応時間<br/>居眠り/飲酒<br/><br/>タスク負荷<br/>心拍測定</p>   | <p>elderly person [people]<br/>human body injury<br/>biomechanics<br/>bioinstrumentation/<br/>driving psychology<br/>driver condition<br/>cognitive reaction time<br/>drowsiness/alcohol drinking<br/>task load/driver burden<br/>cardiotachometry</p>  | <p>高齢者対応<br/>実験倫理/技術倫理<br/>ストレス/主観/パフォーマンス<br/>評価<br/>ドライバセンシング/ドライバモニタリング<br/>ドライバモデル/ライダーモデル<br/>ドライバ状態モニタリング<br/>ドライバ特性/ドライバ行動/ドライバ疲労/ドライバ注意<br/>運転特性<br/>ドライビングシミュレータ</p>   | <p>elderly person [people] support<br/>experiment ethic/engineering ethic<br/>stress/subjective view/performance evaluation<br/>driver sensing /driver monitoring<br/>driver model/rider model<br/>driver condition monitoring<br/>driver characteristics/driver behavior/driver fatigue/driver attention<br/>driving characteristics<br/>driving simulator</p>   |

|      |   |   |   |  |   |
|------|---|---|---|--|---|
| (C2) |   | <p>リスク補償</p> <p>過信/不信</p> <p>ヒューマンインタフェース</p> <p>車酔い/香り/覚醒<br/>疲労/負担<br/>ディストラクション<br/>ワークロード</p> <p>リスク認知</p> <p>ヒューマンエラー<br/>感性/視覚/視認性<br/>HMI (*)<br/>警報システム<br/>情報提供システム</p> <p>意図確定<br/>運転能力</p> <p>ドライブレコーダ</p> <p>質問紙/インタビュー<br/>運転行動<br/>ユーザビリティ<br/>温熱環境<br/>ドライビングポジション<br/>メンタルモデル<br/>顔表情</p> | <p>risk compensation</p> <p>overconfidence/disaffection</p> <p>human interface</p> <p>car sickness/aroma/awakening<br/>fatigue/workload<br/>distraction<br/>workload</p> <p>risk recognition</p> <p>human error<br/>sensitivity/vision/visibility<br/>human machine interface<br/>warning system<br/>information systems</p> <p>intent determination<br/>driving ability</p> <p>drive recorder</p> <p>questionnaire/interview<br/>driving act/driver behavior<br/>usability<br/>thermal environment<br/>driving position<br/>mental model<br/>facial expression</p> | <p>視界/視認性/操作性/制御性/<br/>乗降性/快適性</p> <p>聴覚/力覚/触覚</p> <p>認知/判断</p> <p>操作<br/>運転姿勢<br/>個人差<br/>精神負担/身体負担</p> <p>脳・神経系/筋・骨格系</p> <p>生体計測/生体力学<br/>運転支援<br/>警報<br/>生理計測<br/>自律神経/中枢/内分泌</p> <p>視覚系/嗅覚系<br/>形態・動態特性/感性・知覚特性</p> <p>操作量/作業成績</p> <p>行動観察<br/>精神・肉体疲労<br/>HMI (*)</p> | <p>field of<br/>vision/visibility/operability/control<br/>ability/ ease of egress and<br/>ingress/comfort<br/>sense of hearing/sense of<br/>force/haptic sense</p> <p>recognition/judgment</p> <p>operation<br/>driving posture<br/>individuals difference/variation<br/>mental workload/physical<br/>workload<br/>cerebral nerve<br/>system/musculoskeletal system<br/>bioinstrumentation/biomechanics<br/>driving support/driver support<br/>alarm/warning<br/>physiological measurement<br/>automatic nervous system/central<br/>nervous system/endocrine<br/>secretion<br/>visual system/olfactory system<br/>morphological and dynamic<br/>characteristics/perceptual and<br/>sensory characteristics<br/>operation amount/<br/>operational performance<br/>behavior observation<br/>mental and physical fatigue<br/>human machine interface</p> |
| (D1) | <p>⑨熱・流体<br/>heat・fluid</p>                               | <p>車体/エンジン/吸排気系/部品<br/>要素<br/>空力性能/空力騒音</p> <p>ラジエータ/オイルクーラ<br/>油冷システム/空冷システム</p> <p>エアコンディショナ<br/>冷媒<br/>空気質/臭い</p>  | <p>body/vehicle body/engine/intake<br/>and exhaust system/part element<br/>aerodynamic<br/>performance/aerodynamic noise<br/>radiator/oil cooler<br/>oil cooling system/air cooling<br/>system<br/>air conditioner<br/>refrigerant<br/>air quality/odor</p>   | <p>CFD (*)</p> <p>風洞試験</p> <p>アルゴリズム/モデリング<br/>車室内環境</p> <p>エンジン冷却<br/>空調/快適性<br/>温度制御/環境制御</p> <p>熱害</p>  | <p>computational fluid dynamics</p> <p>wind tunnel test</p> <p>algorithm/modeling<br/>interior environment</p> <p>engine cooling<br/>air conditioning/comfort<br/>temperature control/environmental<br/>control<br/>heat damage</p>   |
| (D2) | <p>⑩環境・エネルギー・資源<br/>environment・energy・<br/>resources</p> | <p>リサイクル</p> <p>リユース</p> <p>レアメタル/レアアース<br/>ISO14000<br/>太陽光/風力</p> <p>LCA (*)<br/>大気環境/水質環境/土壌環境</p> <p>排出ガス<br/>燃費/熱効率<br/>新エネルギー<br/>再生可能エネルギー/リニュー<br/>アブルエネルギー<br/>燃料/代替燃料<br/>有害大気汚染物質<br/>温暖化ガス<br/>VOC (*)</p>  | <p>recycling</p> <p>reuse</p> <p>rare metal/rare earth<br/>ISO14000<br/>sunlight/wind power</p> <p>life cycle assessment<br/>air quality/water quality/soil<br/>environment<br/>emissions/emission gas<br/>fuel economy/thermal efficiency<br/>new energy<br/>recyclable energy/renewable<br/>energy<br/>fuel/alternative fuel<br/>hazardous air pollutant<br/>heat-trapping gas/greenhouse gas<br/>volatile organic compound</p>   | <p>環境重視型生産</p> <p>環境指向型生産設計/リサイ<br/>クル設計</p> <p>メンテナンス<br/>基準<br/>国際環境政策/政策分析</p> <p>材料リサイクル<br/>ライフサイクル管理</p> <p>設計/生産<br/>高耐用技術<br/>規制/政策/標識<br/>健康影響</p> <p>評価モード<br/>国際基準調和<br/>製造/使用/廃棄段階<br/>エネルギー製造<br/>気候変動</p>  | <p>environmentally conscious<br/>production<br/>environment-oriented production<br/>design/recycle design</p> <p>maintenance<br/>standard<br/>international environmental<br/>policy/policy analysis<br/>material recycling<br/>life cycle management</p> <p>design/production<br/>long service life technology<br/>regulation/policy/marketing<br/>health effects</p> <p>evaluation mode<br/>global standard harmony<br/>manufacturing/use/disposal stage<br/>energy manufacturing<br/>climate change</p>  |
|      | <p>⑪材料<br/>materials</p>                                  | <p>鉄鋼材料<br/>軟鋼板/高張力鋼板/表面処<br/>理鋼板</p> <p>ステンレス鋼<br/>特殊鋼<br/>鋳鉄</p> <p>焼結材料/粉末合金<br/>非鉄材料</p>  | <p>iron and steel materials<br/>low carbon steel sheet/mild steel<br/>sheet/high-strength steel<br/>sheet/surface treated steel sheet</p> <p>stainless steel<br/>special steel<br/>cast iron<br/>sintering material/powder alloy<br/>non-ferrous material</p>   | <p>試験/評価<br/>モデリング</p> <p>負荷シミュレーション<br/>信頼性/ロバスト設計</p> <p>防錆<br/>軽量化</p>  | <p>test/evaluation<br/>modeling</p> <p>load simulation<br/>reliability/robust design</p> <p>rust prevention<br/>weight reduction/mass reduction</p>   |

|      |  |   |   |   |   |
|------|--|---|---|---|---|
| (D3) |  | アルミニウム合金/マグネシウム合金/チタン合金<br>複合材料<br>高分子材料<br>エラストマ<br>ポリマー複合材<br>SMC (*)<br>プラスチックリサイクリング<br>インストパネル<br>バンパ/車体/外装<br>内装/シート<br>接着剤<br>塗料<br>エンジンコンポーネント<br>シール/ガスケット<br>窓ガラス<br>構造用セラミクス/エレクトロセラミクス<br>二次電池材料/モータ用材料<br>電磁鋼板<br>電解質<br>永久磁石<br>触媒<br>グリース                    | aluminum alloy/magnesium alloy/titanium alloy<br>composite material<br>polymer material<br>elastomer<br>polymer composite material<br>surface mount chip or sheet<br>molding compound<br>plastic recycling<br>instrument panel<br>bumper/body/vehicle body/exterior<br>interior/seat<br>adhesive<br>paint<br>engine component<br>seal/gasket<br>window glass<br>structural ceramics/electroceramics<br>secondary battery material (rechargeable battery material)/material for motor<br>magnetic steel sheet<br>electrolyte<br>permanent magnet<br>catalyst<br>grease   | 強度/剛性/耐磨耗<br>疲労<br>耐食/電食<br>添加<br>熱処理/焼き入れ<br>表面処理/めっき<br>鋳造/鍛造<br>接合/結合/溶接<br>プレス技術<br>プロセス<br>精錬<br>加工性/リサイクル性<br>衝撃性/透明性<br>耐熱/耐油/耐燃料/耐水/耐光<br>平滑性<br>絶縁性能<br>ナノテクノロジー<br>破壊/酸化/劣化/耐熱性<br>磁気特性<br>フリクション | strength/stiffness/rigidity/wear resistance<br>fatigue<br>anticorrosion/stray current corrosion/electrolytic corrosion addition<br>heat treatment/quenching<br>surface treatment/plating<br>casting/forging<br>joining/coupling/welding<br>press technology/stamping technology<br>process<br>smelting<br>workability/recyclability<br>impact resistance/transparence<br>heat resistance/oil resistance/ fuel resistance/water resistance/light resistance/light fastness<br>smoothness<br>insulation performance<br>nanotechnology<br>fracture/oxidation/deterioration/degradation/heat resistance<br>magnetic characteristics<br>friction |
| (D4) | ⑩生産・製造<br>production*manufacture         | 素材材<br>成形加工<br>付加加工<br>チームワーク設計<br>量産試作<br>鋳造/鍛造/組立/塗装/錆装<br>生産計画/製造計画/生産管理/製造管理<br>品質管理/供給系管理/日程管理<br>金型<br>熱処理/表面処理<br>設備/保守/メンテナンス<br>調達/購買<br>一貫生産<br>PLM/BOM/PDM/MES (*)   | formed and fabricated materials<br>forming process<br>additional machining<br>teamwork design<br>quantity production prototyping<br>casting/forging/assembly/painting/trim<br>production plan/manufacturing plan/production management/manufacturing control<br>quality control/supply control/schedule control/schedule management<br>die/mold<br>heat treatment/surface treatment<br>equipment/maintenance/maintenance<br>procurement/purchase<br>continuous production<br>product lifecycle management/bill of materials/product data management/manufacturing execution system  | 企画/意匠/サイマル<br>材料/コスト<br>プレス/樹脂(プラスチック)<br>機械加工/高エネルギー密度加工<br>接合/溶接/肉盛り<br>CAT/評価/品質 (*)<br>検査/測定<br>設計/試作<br>モジュール<br>トータルコスト   | planning/design/simulation<br>material/cost<br>press/resin (plastics)<br>machining/high energy density machining<br>joining/welding/weld overlay<br>computer-aided testing /evaluation/quality<br>inspection/measurement<br>design/prototyping<br>module<br>total cost  |
|      | ⑪エレクトロニクス及び制御<br>electronics and control | エンジン制御/トランスミッション制御/シャシー制御<br>衝突安全制御/予防安全制御/知能化安全制御<br>統合制御/車体系制御/パイワイヤ制御/EV・HEV制御 (*)<br>電子デバイス/パワーデバイス<br>車載マイコン/車載LSI (*)<br>ECU/PCU (*)<br>ミリ波レーダ/レーザーダ/UWB (*)<br>半導体カメラ/赤外カメラ<br>表示デバイス/操作デバイス/警報・情報提供デバイス<br>車庫入れ支援システム<br>LEDライト (*)<br>フィジカルセンサ/ケミカルセンサ<br>MEMS (*) | engine control/transmission control/chassis control<br>passive safety control/active safety control/intelligent safety control<br>integration control/vehicle body control/by-wire control/electric vehicle and hybrid electric vehicle control<br>electronic device/power device<br>microprocessor/large scale integrated circuit<br>electronic control unit/<br>millimeter wave radar/laser radar/ultra wide band radar<br>semiconductor camera/infrared camera<br>device/operation device/warning and information device<br>parking assist system<br>light emitting diode light<br>physical sensor/chemical sensor<br>micro electro mechanical systems | 試験/計測/診断<br>信頼性/シミュレーション<br>制御システム/ソフト<br>データ転送・蓄積<br>ハードウェア・ソフトウェア標準化<br>テスト情報管理<br>電子物性<br>電気回路/電子回路<br>車両センサ/アクチュエータ<br>画像処理<br>オンロードテスト/耐久テスト/部品レベルテスト<br>新計測法  | test/measurement/diagnosis<br>reliability/simulation<br>control system/software<br>data transfer and storage<br>hardware and software standardization<br>information management<br>electronic properties<br>electric circuit/electronic circuit<br>vehicle sensor/actuator<br>image processing<br>on-road test/duration test/durability test/parts level test<br>new measuring technique  |

|      |   |   |  |   |   |
|------|---|---|--|---|---|
| (E1) |   | ドライバ状態検知制御システム/セキュリティ制御システム制御シミュレーション/HILS (*)<br>エコカーエレクトロニクス<br>HMI表示/HMI操作/HMI情報提供システム (*)<br>制御ナビゲーション<br>画像認識システム/音声認識システム<br>電動アクチュエータ<br>EMC (EMI/EMS) (*)<br>車載多重通信システム<br>灯火系<br>EDR (*)<br>OBD (*)<br>ワイヤハーネス/電力系ワイヤハーネス<br>ソフトウェアプラットフォーム<br>ロボティクス<br>知的制御システム/自律走行システム<br>電力システム | driver state detection control system/security control system control simulation/hardware in the loop simulation<br>environmentally friendly car electronics<br>human machine interface display/human machine interface operation/human machine interface information provision system<br>control navigation<br>image recognition system/speech recognition system<br>electrical actuator<br>electromagnetic compatibility (electromagnetic interference/electromagnetic susceptibility)<br>on-board multiplex communication system<br>light<br>event data recorder<br>on-board diagnostics<br>wiring harness/wire harness/electrical system wire harness<br>software platform<br>robotics<br>control system/autonomous land system/autonomous driving system<br>electrical system | 知能化<br>システム工学<br>機能安全<br>電気機器<br>パッケージ/アセンブリ/実装技術   | intelligent<br>system engineering<br>functional safety<br>electrical equipment<br>package/assembly/packaging technology   |
| (E2) | ⑭情報・通信及び制御<br>information, communication, and control | CAN (*)<br>AUTOSAR<br>ブルートゥース<br>V2G (*)<br>PLC (*)<br>無線LAN<br>ドライブレコーダ<br>車両ナビゲーション/コミュニケーションシステム<br>FlexRay<br>車載高速通信<br>UWB通信<br>インタネット通信<br>スマートグリッド<br>クラウドシステム<br>リモートダイアグ<br>LIN (*)<br>インタナビ交通情報<br>HDラジオ (*)<br>PND (*)<br>ネットワークトレーサビリティ<br>WiMax<br>電子すかし技術<br>セキュア通信プロトコル        | controller area network<br>AUTOSAR<br>Bluetooth<br>vehicle to grid<br>power line communication<br>wireless local area network<br>drive recorder<br>vehicle navigation system/communication system<br>FlexRay<br>high-speed communication<br>ultra wide band communication<br>Internet communication<br>smart grid<br>cloud system<br>remote diagnostics<br>local interconnect network<br>traffic information<br>HD Radio<br>portable navigation device/personal navigation device<br>network traceability<br>Worldwide Interoperability for Microwave Access<br>digital watermark technology<br>secure communication protocol  | 車間通信<br>情報システム<br>オーディオ<br>ナビゲーション<br>環境認識<br>通信システム<br>室内ネットワーク/車両ネットワーク<br>IT/ITS (*)<br>メディア情報<br>エコドライブ<br>音声認識<br>光通信<br>WEBコンテンツ<br>分散処理システム<br>マルチコアCPU<br>オペレーションシステム | inter-vehicle communication/vehicle-to-vehicle communication<br>information system<br>audio<br>navigation system<br>environment recognition<br>communication system<br>interior network/vehicle network<br>information technology/intelligent transport system<br>media information<br>eco-drive/environmentally friendly driving<br>speech recognition<br>optical communication<br>web contents<br>distributed processing system<br>multi-core CPU<br>operating system |
| (F1) | ⑮社会システム<br>social system                              | 省エネ運転<br>電気社会システム   | energy-saving driving<br>electricity-based society systems   | 交通環境<br>交通工学<br>交通流<br>安全教育<br>道路   | traffic environment<br>traffic engineering<br>traffic stream<br>safety education<br>road  |
| (F2) | ⑯共通基盤<br>common infrastructure                        | オンボード計測<br>耐久テスト<br>テスト情報管理<br>部品レベルテスト<br>CAD/CAM/CAE (*)  | onboard measurement<br>durability test<br>information management<br>parts level test<br>computer-aided design/computer aided manufacturing/computer aided engineering  | 模型実験<br>シミュレーション/モデリング<br>設計<br>保守/整備/保全<br>サービス<br>短期試作<br>仮想進行<br>修理<br>診断装置<br>保証  | experiment with a model<br>simulation/modeling<br>design<br>maintenance/maintenance/protection<br>service<br>rapid prototyping<br>virtual planning<br>repair<br>diagnostic device<br>warranty   |

|      |                                       |  |   |  |   |
|------|---------------------------------------|--|---|--|---|
|      |                                       |  |   | モニタリング<br>データ転送・蓄積<br>規格/規制<br>法規/認証<br>品質保証<br>政策提案<br>知財<br>技術者教育/育成<br>自動車技術史 | monitoring<br>data transfer and storage<br>standard/regulation<br>regulation/certification<br>quality assurance<br>policy proposal<br>intellectual property<br>engineering education/training<br>history of automotive technology |
| (F3) | ①その他のモビリティ<br>other means of mobility | 航空機<br>アビオニクス<br>海洋/船舶<br>航空宇宙<br>鉄道<br>パーソナルモビリティ | airplane<br>avionics<br>marine/shipping<br>aerospace<br>rail<br>personal mobility |  |   |

| #  | 略語<br>Abbreviation | 英語<br>English                      | 日本語<br>Japanese   |
|----|--------------------|------------------------------------|-------------------|
| 1  | ABS                | Antilock Brake System              | アンチロックブレーキシステム    |
| 2  | ACC                | Adaptive Cruise Control            | 車間距離制御システム        |
| 3  | AMT                | Automated Manual Transmission      | 自動化マニュアルトランスミッション |
| 4  | AWD                | All Wheel Drive                    | 全輪駆動(4輪駆動)        |
| 5  | BDF                | Bio Diesel Fuel                    | バイオディーゼルフューエル     |
| 6  | BOM                | Bills of Materials                 | 部品表               |
| 7  | CAD                | Computer Aided Design              | コンピュータ支援設計        |
| 8  | CAE                | Computer Aided Engineering         | コンピュータ支援技術        |
| 9  | CAM                | Computer Aided Manufacturing       | コンピュータ支援加工        |
| 10 | CAN                | Controller Area Network            | コントローラエリアネットワーク   |
| 11 | CAT                | Computer Aided Testing             | コンピュータ支援検査        |
| 12 | CFD                | Computational Fluid Dynamics       | 数値流体力学            |
| 13 | CRS                | Child Restraint System             | 幼児拘束装置            |
| 14 | CVT                | Continuously Variable Transmission | 無段変速機             |
| 15 | DCT                | Dual Clutch Transmission           | デュアルクラッチトランスミッション |
| 16 | DME                | Dimethyl Ether                     | ジメチルエーテル          |
| 17 | ECU                | Electronic Control Unit            | エンジン制御コンピュータ      |
| 18 | EDR                | Event Data Recorder                | イベントレコーダ          |
| 19 | EMC                | Electromagnetic Compatibility      | 電磁妨害感受性           |
| 20 | EMI                | Electromagnetic Interference       | 電波障害              |
| 21 | EMS                | Electromagnetic Susceptibility     | 電磁的免疫性            |
| 22 | EV                 | Electric Vehicle                   | 電気自動車             |
| 23 | FT                 | Fischer Tropsch                    | フィッシャートロプシュ       |
| 24 | HD                 | High Definition                    | ハイデフィニション         |
| 25 | HEV                | Hybrid Electric Vehicle            | ハイブリッドカー          |
| 26 | HILS               | Hardware In the Loop Simulation    | HILシミュレーション       |
| 27 | HMI                | Human Machine Interface            | ヒューマンマシンインタフェース   |
| 28 | ISS                | Injury Severity Score              | 傷害度スコア            |
| 29 | IT                 | Information Technology             | 情報技術              |
| 30 | ITS                | Intelligent Transport System       | 高度道路交通システム        |
| 31 | LCA                | Life Cycle Assessment              | ライフサイクルアセスメント     |
| 32 | LED                | Light Emitting Diode               | 発光ダイオード           |
| 33 | LIN                | Local Interconnect Network         | ローカルインタコネクトネットワーク |
| 34 | LSI                | Large Scale Integration Circuit    | 大規模集積回路           |
| 35 | MEMS               | Micro Electro Mechanical Systems   | メムス               |
| 36 | MES                | Manufacturing Execution System     | 製造実行システム          |
| 37 | OBD                | On Board Diagnosis                 | 車載診断              |
| 38 | PCU                | Power Control Unit                 | パワーコントロールユニット     |
| 39 | PDM                | Product Data Management            | 製品情報管理            |
| 40 | PLC                | Power Line Communications          | 電力線搬送通信           |
| 41 | PLM                | Product Lifecycle Management       | 製品ライフサイクル管理       |
| 42 | PND                | Portable Navigation Device         | 可搬型ナビゲーション装置      |
| 43 | SCR                | Selective Catalytic Reduction      | 選択触媒還元            |
| 44 | SMC                | Sheet Molding Compound             | シートモールディングコンパウンド  |
| 45 | SOC                | State Of Charge                    | 充電レベル             |
| 46 | UWB                | Ultra Wide Band Radar              | 超広帯域無線            |
| 47 | V2G                | Vehicle to Grid                    | ビークルトゥグリッド        |
| 48 | VOC                | Volatile Organic Compounds         | 揮発性有機化合物          |

公益社団法人自動車技術会 学術講演会原稿執筆要領

---

|              |        |    |              |        |    |
|--------------|--------|----|--------------|--------|----|
| 1989年 10月 1日 | 第 1 版  | 発行 | 2011年 2月 7日  | 第 21 版 | 発行 |
| 1991年 9月 1日  | 第 2 版  | 発行 | 2011年 6月 15日 | 第 22 版 | 発行 |
| 1993年 10月 1日 | 第 3 版  | 発行 | 2012年 6月 15日 | 第 23 版 | 発行 |
| 1994年 10月 1日 | 第 4 版  | 発行 | 2013年 2月 1日  | 第 24 版 | 発行 |
| 1995年 10月 1日 | 第 5 版  | 発行 | 2013年 10月 1日 | 第 25 版 | 発行 |
| 1996年 10月 1日 | 第 6 版  | 発行 | 2014年 9月 1日  | 第 26 版 | 発行 |
| 1997年 10月 1日 | 第 7 版  | 発行 | 2016年 2月 1日  | 第 27 版 | 発行 |
| 1998年 10月 1日 | 第 8 版  | 発行 | 2018年 10月 9日 | 第 28 版 | 発行 |
| 1999年 10月 1日 | 第 9 版  | 発行 | 2021年 10月 1日 | 第 29 版 | 発行 |
| 2000年 3月 1日  | 第 10 版 | 発行 |              |        |    |
| 2000年 9月 1日  | 第 11 版 | 発行 |              |        |    |
| 2001年 1月 1日  | 第 12 版 | 発行 |              |        |    |
| 2003年 2月 1日  | 第 13 版 | 発行 |              |        |    |
| 2004年 1月 9日  | 第 14 版 | 発行 |              |        |    |
| 2006年 2月 1日  | 第 15 版 | 発行 |              |        |    |
| 2009年 2月 1日  | 第 16 版 | 発行 |              |        |    |
| 2009年 8月 1日  | 第 17 版 | 発行 |              |        |    |
| 2009年 10月 1日 | 第 18 版 | 発行 |              |        |    |
| 2010年 2月 1日  | 第 19 版 | 発行 |              |        |    |
| 2010年 7月 9日  | 第 20 版 | 発行 |              |        |    |

編 集 学術講演会運営委員会

発行所 公益社団法人 自動車技術会

〒102-0076 東京都千代田区五番町 10-2

事務局：技術交流事業課

Tel. 03-3262-8214

Fax. 03-3261-2204

E-mail: tech@jsae.or.jp

---

© 自動車技術会, 2021

本誌に掲載された全ての記事内容は、公益社団法人自動車技術会の許可なく転載・複写することは出来ません。